

名古屋丸の内ロータリークラブ Nagoya Marunouchi Rotary Club Weekly Report

例会会場：名古屋クレストンホテル
(TEL : 052-264-8000)

例会曜日：木曜日 12時30分
クラブ会報広報委員長：黒田 覇太郎
HP : <http://nagoya-marunouchi-rc.org/>

2023-24年度 R.I. テーマ
会長：ゴードン R. マッキナリー

Rotary
Club of Nagoya Marunouchi



世界に希望を生み出そう

承認
会長
幹事
事務局

1995.03.28
松尾 雄二郎
今村 昌根
名古屋クレストンホテル
1007号
名古屋市中区栄 3-29-1

TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp

松尾 雄二郎 会長 年度目標 : 親睦、親睦、そして親睦、楽しんで 30周年につなげましょう

第1256回 例会 No. 32 令和6年 5月30日(木)

- ローターソング 「それこそロータリー」
- 出席報告 会員46名中 20名出席
- 出席率 47.62% 出席計算人数42名
- ゲスト 名古屋錦 RC 会長 北村隆子さん
松尾会長ゲスト 木下昌俊 様
- スピーカー 河原照忠さん 他

会長挨拶

松尾雄二郎

皆様こんにちは。

健康管理もして、1回も休まずを目標にしていたましたが先回は
お休みさせていただきまして、ご迷惑をおかけしました。



先週、今村幹事と年度内最後
のお役目かなと名古屋守山ロ
ータークラブの60周年に行っ
てきました。名古屋内外の会長
幹事を呼んで200名越えでし
たが、とてもシンプルで良いパ
ーティーでした。余興も奨学生
のお母様のピアノ演奏や、奥様チ
ームの琴の演奏など、内輪で

済ませていて、パーティーも1時間、食事だけでしたが、謝辞
とか挨拶がしっかりしているから、締まった感じで無駄がな
かったです。式次第などは次年度の実行委員の方のお役に立
つと思いました。

また、円安が多分に影響して、財団寄付が1人頭30ドルほ
ど目標額に足りないとの事でした。安江さんのお話では無い
ですが、次年度執行部や財団委員長に迷惑をかけない方向
で、今村幹事と相談してクリアしていこうということにして、私
もまた1口寄付をさせていただきました。

本日、友人のとても優秀な若手経営者である木下さんをお招
きしています。私の強い誘いを断りきれず、ただ飯を食べた
ばかりにもう入会しかないと、覚悟を決めていると思います。
諸先輩方、くれぐれも大切に育てていただけますよう心よりお
願いいたします。

新人の勧誘も目標に届きそうですので、いよいよ年度を終え
て、来年度にバトンを渡す準備が整いつつあり、ロータリーク
ラブに対しては気の抜ける思いと、それぞれ本当に仕事をし
ないといけないと思っています。

本日は、河原さんのお話と、期待通り盛り上がった同好会報
告を楽しみにしています。今日も1日よろしくお祈りします。

ニコBOX

名古屋錦 RC 会長 北村隆子さん

- ・先月は地区研修協議会にて大変お世話になりましてあり
がとうございました。
- ・来期30周年おめでとうございます。
- ・藤田様、ガバナー補佐ご苦労様です。

河原さん 本日久しぶりに卓話をします。

●本日は会員卓話です。河原照忠さんにお話しいただきま
す。よろしくお祈りいたします。同好会の活動報告もござい
ます。

松尾会長、今村幹事、藤田、岩本、岩田、加藤、田島、恵利
八木、田中、水野、後藤、西川、川原、堀江亮介、小野、
安江、磯部(敬称略)

●春の健康感謝ニコニコ Day 松尾会長以下6名

本日合計 62,000 円

会員卓話

河原照忠

久しぶりにここに立ちますので、多少緊張しております。
私も今年の5月で84歳になりまして、人生の何をお話しよ
うかなと思ひ、私の人生の大半を過ごし、70歳まで勤めてい
ました会社についてお話し
したいと思います。
私は高等学校は東海高校を出
まして、京都の京都大学じゃ
ない方の大学に入り、4年間京
都で過ごしました。東海高校
の友達は非常に優秀な方が多
くて、お医者さんになった人



が確か10人以上いたと思います。

NHKに入った人、大同特殊鋼業、日本興業銀行、名鉄、東邦
ガス等々、大企業へ就職した人が多かったのですが、私はど
ういうわけか当時50人ぐらいの東海綿業という小さな布団
屋に入ったわけです。その会社の小野木さんという社長を学
生時代からよく知ってまして、「卒業したらぜひ俺のどこ
ろへ来てくれ」ということで、その社長に惹かれて入社しま
した。東海高校の同窓会があって友達に会うと、みんな大企
業の連中ばかり。「お前どこ行っとる」と聞かれ、私は東海綿
業という、「お前のところの親戚とかなのか？自分のとこ
で家を継いだのか？」とか言われて、非常に肩身の狭い思
いをしたわけです。東海綿業という会社は、貸し布団屋さん
です。この貸し布団屋という商売は、もともと奈良県の天理教

の信者が、天理に全国から何千人という人が集まるものから、奈良の布団屋さんが始めたのが始まりです。その頃の
小野木社長はまだ30そこそこの若い人だったんですけど、
岐阜の、橋を架ける土木会社に就職して、和歌山県の仕事で
奈良の布団屋から布団を借り、いわゆる飯場で寝起きして
いました。その時にこの貸し布団の商売はおもしろいなという
ことで、その土木会社を辞めちゃって、自分で布団屋を始め
たわけです。

当時、自分の奥さんや親戚を集めて、15人から20人ぐら
いで布団を作って販売をしていました。その頃は建物を作るの
に、例えば4階建てのアパートを作るのにも半年から1年か
かりまして、土方だとか鉄筋屋さんとか型枠大工など様々
な業者が入れ替わり立ち代り、飯場を建てて貸し布団を使
って仕事をしていたわけです。

そんな会社を立ち上げて、初めて大阪に支店を出すときに、
「河原君、大阪の支店長で行ってくれ」ということで、私は
その時新婚で、カミさんをもらったばかりでしたが、大阪の
東淀川区の小さな倉庫と社宅みたいなところに入りました。
そしてカミさんが従業員の飯炊きで。カミさんには「エライ
人と結婚した」とかなり泣かれました。うちのカミさんは大
学教授の娘で、もう本当のエリートの娘さんだったわけで、
結婚していきなり飯炊きをさせられて相当ぼやかれたわけ
です。当時大坂では、千里ニュータウンの土地の造成工事だ
とか、すぐ後に万国博が始まるという建築ブームで、大阪支
店は4年ぐらいたんですけれど、4年間で布団の貸し出し枚
数が4万枚ぐらありました。当時布団の貸し出しの料金は
1枚8円とか、6円とかそういう時代でした。その頃、横浜
にも支店を出しまして、横浜もやっぱり同じように順調に伸
びていったわけです。

昭和33年頃でしたか、病院に入院するときには入院患者さ
んは自分の布団を持って入院をしていたわけですが、これ
も保険点数で、いわゆる貸し布団でもいいよということ
になり、これがあたりまして、川原先生のところにもお世話
になりましたが、いわゆる病院保険点数で当時、3点ぐら
いでしたか。1日30円ぐらいの布団代が、国から支給され
たわけです。我々は布団を作り、それから週に1回洗濯するわ
けです。立派な工場を横浜に作り、これが順調に伸びまして、
最終的には東京の慶応大学だとか東海大の伊勢原だとかの
大病院にも入ることができました。おかげさまで順調に伸び
て、何年後には名証に上場もできましたし、今は東証のプ
ライム市場というのか、そちらに株式会社トーカイという名
前で出ております。株価は2100円ぐらいついています。

その発展途中に、病院に出入りしている関係で、薬はその当
時、病院の方で処方して患者さんに渡していたんですけど、
今から22~3年前にいわゆる調剤薬局委員会で、先生が処方
箋を書いて、薬は外でもらってくださいという厚生省の方針
が出まして、当時布団の方の専門だったんですけど、いち早
く県の薬務課へ行きまして「薬局やります」と申請しました。
そうしたら「お前のところは布団屋だろう。薬局は薬剤師が
やるのだが、お前は薬剤師か」と言われました。

いや違うって言いましたら、薬局は薬剤師がいないとでき
ないと言われ、そのことを初めて知りまして、いい加減なも
んだったんですね。

その後調べたら、大垣市民病院の薬剤部長が定年になるとい
うことで、彼は今まだ健在で、九十二、三歳で元気ですけど、

彼を引っ張ってきまして、代表権の専務になっていただき代
表取締役専務ということで、調剤薬局を始めたわけです。こ
れも川原先生のところにずいぶんお世話になって、最初は岐
阜の整形外科の病院でやっていたんですけど、その病院の布
団代リース料が月20万円ぐらいのところ、薬局をやると整
形外科病院でも月800万円ぐらいの売り上げになったわけ
です。これはもうびっくりしまして、当初は薬価差益という調
剤薬局の調剤する薬医も、スズケンだとか問屋さんから仕入
れるときに差益がずいぶんあったうえに、先生に処方を書い
てもらって出すと、またそれが儲かったわけです。ですから
非常に薬局の方も順調に伸びまして、現在は四国だとか、そ
れから北陸地方に展開し、160店舗になりました。

株式会社トーカイ全体の売り上げが、現在年間1,600億か
1,700億ぐらいなわけですけどそのうちの半分を、調剤薬局
で占めております。これもひとえに川原先生たちのおかげだ
と、足を向けて寝られないないつも思っています。
私の人生とほとんど一緒と言っていいほど、この会社で一生
懸命働いてきました。70歳過ぎてからはとても暇でございま
して、たまたま京都にいた関係で京都が好きなので、十二、
三年前から京都にマンションを持ちまして、そこで月のうち、
1週間ぐら過ごしています。

カミさんが、せっかく京都に来たからお寺巡りをして極楽に
行けるようにお参りがしたいというので、御朱印帳を集め始
めたところ、これが世間でもブームになりました。京都には
お寺が400くらいあるので、御朱印帳が10冊になりました。
これでもう極楽へ行けると楽しみに、これを集めております。
旅行に行った先々のお寺とか、そういった神社仏閣を回って
います。

そんな日常生活を最近は過ごしています。ご清聴ありがと
うございました。

同好会活動報告

◆食いしん坊の会

松尾雄二郎さん



今年会長をやらせていただきましたので、当然始まる前から、クラブを盛り上げたいなって気持ちが一番強かった年度でございます。去年よりも1回多く出席してください。同好会に1回参加してください。懇親会も必ず来てくださいというような形で、1年前にスタートしました。最初は「美食の会」として始めたら、ちょっと良いお店がぱっと候補に並び、同じ人ばかりでパパッと参加人数が埋まってしまいました。

それはそれで楽しいんですけど、もうちょっとB級グルメまで広めたいということで、3回目ぐらから「食いしん坊の会」に名前を変えまして、どんなお店でもエントリーしていただけるようにしました。

ゴルフだとかできない人もいるし、ダイビングだと潜れない人、例えば耳抜きができないとかそういうこともあるでしょうし、マラソンだと足が折れちゃう人もいるかもしれません。でもこの会にご飯を食べるだけですから、誰でも来られますよね。誰でも参加できるというジャンルを一つ増やしたいということで始めさせていただきます。僕の中ではかなり盛り上がった1年でした。美味しいものを一緒

に食べて文句言う人はいないんですよ。せいぜい高いか
なっているくらい。

でも高いうってほどのワインを無理して頼んでません
でしたので、喧嘩にもならなかったですし、来年もこの同好
会は盛り上がりそうです。次年度7月からの予定
も、小野さんがちょっと珍しい案を出してくれたり、今日
来てないけど小原さんが席の取りにくい焼き鳥屋さん
とか、面白い計画を入れてくれています。お寿司シリー
ズと、B級のもの皆さん好きなんだけど、家を出たときと帰
ってくる時に服の色が違うような焼肉屋に最近行ったこと
ないと思うんですね。昔そういう人がいっぱいいましたよ
ね。くさいけど美味しいじゃないですか。そういうところ
を、今日来てない木下くんが持っていますので、ぜひ食べ
に行きたいなと思ってます。そんな予定を立てていますの
でまず、同好会にエントリーしていただいて、案内をFAX
で受け取ったら、なるべく早く出席の丸をつけて出して
いただければ、基本的に早いもの順で決めていきます。
ご参加よろしくお祈りします。

◆マラソン同好会 堀江亮介さん



マラソン同好会は、一応現在公式に
はメンバー4名、松尾会長、今村さ
ん、田島さん、堀江ということです。
田中さんは監督というということに
なっております。活動はマラソン大
会とか、ランニングイベントなど
に出場して、楽しく汗を流すとい
うことですね。

多分今シーズンのメインは、復興マラソンです。東北・みや
ぎ復興マラソンというのに毎年出場しているんですけど
も、私はちょっと行けなかったんですけど皆さん楽しんでお
られたようです。1月に、西尾マラソンという愛知県内では
珍しいフルマラソンの大会が去年からありまして、今年が第
2回でした。去年も出て今年も行ったんですけど、私が2回
とも途中でリタイアという醜態をさらして、松尾会長から
いろいろご指導をいただいて、それで僕も反省しまして、最近
は毎朝走ったりして、この前、庄内緑地で「メイクアウツ
シュ」の10キロのランニングイベントがあったんですけど、
そこで僕はその練習の成果をちょっとだけ見せまして、松尾
会長からも「最初の頃はいいね、走りが変わったよ」という
ふうにお褒めをいただきました。でも「最後は結局いつもの
堀江さんだね」って追い抜かれましたので、今度は松尾会長
に、勝つのはちょっと足の長さも違うし、無理ですけども
もう少し認めていただけるように頑張っていきたいと思
います。いろんなマラソンランニング、距離もフルマラソン
以外に、5キロ10キロとかいろんなタイプがイベント場所別
にありますので、タイムとかいまさら競うということでもあ
りませんし、ぜひぜひ、最近結構うちのクラブも40代や50
代前後の方もいっぱい入っていただいているようなので、田
中監督に応援していただけるという特典付きの同好会を、ぜ
ひよろしくお祈りいたします。

◆麻雀同好会 岩田 宏さん

先日4年ぶりぐらいに大会を行いました。麻雀はちいさな部
屋で密になるので、コロナの間は全くできずに久しぶりにや



ったんですが、今回も実は前回も
長谷川さんが優勝されました。こ
れは決して上手なわけではなく、
長谷川さんがメンバー卓のメンバ
ーを決めるときに、素人の人に教
えなきゃいけないからと言って素
人勢を相手にされまして、2回連続
で優勝されております。認知症の
予防として、麻雀は指先を使うの
で、今では多くの老人施設など雀卓を入れて麻雀をレクリエ
ーションでやったりしています。皆さん奮って参加をして
いただければと思います。次回は未定ですが、また募集がかか
ると思います。あと余談ですが、今日河原さんにお話いただ
いて懐かしいなと思って、というのが、株式会社トーカイは
僕の実家から歩いて1分ぐらいのところにあります。

◆写真同好会 西川 博さん



こんにちは。
写真同好会のメンバーは磯部さ
ん、成田さんと私の3名ですが
も、今はほとんど活動していま
せん。ただニコボックスの写真は、
私が投稿している写真を大体載
せていただいています。新しい車
に花や鳥、そんなところで。それ
ともう一つ、最近いろいろ観察
してまして、この間、なばなの里
に行きまして、みんなスマホで撮
っているんだらうと思つたら
そうじゃなくて、デジカメとかミ
ラーレスを持ってる方が結構多
いです。大きなカメラですとか、
家族連れのお子さんを連れ方も
結構、カメラは一眼レフを持っ
ていますね。同好会の活動とし
ては、まだまだやりたいことが
ありますし、どなたかにお世話役
をお願いできればと思っています
ので、これからもどうぞよろし
くお祈りします。

◆ダイビング同好会 水野裕善さん



ダイビング同好会をやっており
ますが、今までメンバーが8名
もいるとは知りませんでした。
大体3人ぐらいだと思っていた
のですが、私達のように普通の
ファンダイビングをやる者と、
堀江さんみたいに危ないところ
ばかり行かれる方と、いろい
ろな方がお見えになり、私ども
は年1回沖縄へ行き、ちょっと特

殊な同好会ですので、大体4泊から5泊で計画します。とい
うのも飛行機の気圧の関係で帰ってくる日は潜れませんの
で、それを考慮して予定を組み、毎晩どんちゃん騒ぎをや
っております。興味があってもし行かれる方がみえましたら、
お声掛けくださればご案内差し上げますのでよろしくお祈
りします。ついでに、田中さんはインストラクターでもあり
まして、昔のダイバー同好会の写真に、綺麗な写真が残っ
ております。以上でございます。

◆釣り同好会

恵利有司さん



現在はメンバー6名となっております。現実的な活動はあまりないんですが、ゴールデンウィークに静岡県御前崎にトータルのメンバー4名で行ってまいりまして、鯛ですとかイサキですとかそういったものを釣ってきました。来月も企画しておりますので、興味のある方はお声をかけていただければと思っております。ぜひご参加よろしくお願いたします。

◆ゴルフ同好会

加藤 豊さん



私自身がゴルフを始めて2年ぐらいなので、ゴルフの作法というのがわからなくて、いろいろと自分が幹事をやってきた時も、皆さんにご迷惑をおかけして申し訳なかったです。ゴルフ同好会、平日にやっているんですが、なかなか出席の都合が合わないということもありまして、最近もつばら木曜日に企画するというようになっております。ですが、私が木曜日に医師会の用事が入ってしまいまして、早速自分が出席できないという状況にも関わらず、来年ゴルフ会副幹事になってしまうということで、またまた皆さんにご迷惑をおかけしてしまうかもしれません。何しろ私どものクラブには、矢野さんと高橋さんという二大巨頭がおりまして、またこのお2人のうち、特に高橋さんがダブルペリア運がめっちゃ強いんです。8連続優勝とか9連続優勝とかしておられますので、なかなか両巨頭を乗り越えることができません。ぜひ新会員の方にもゴルフ会に入っていただいて、「打倒！高橋と矢野」に燃えていただきたいなと、このように思います。よろしくお願いたします。

次回の例会予定

6月6日(木)「会員卓話」梶谷武司さん、岩本和宏さん

6月13日(木)「退任挨拶」会長幹事ほか

6月20日(木) 例会変更「会長幹事慰労例会」安江にて

※6月27日(木) 休 会【定款第7条第1節一(d)により】

新年度は7月4日からになります。

ハイライトよねやま 第290号より抜粋転載

「例会をサプライズ訪問」

奨学期間を終了した米山奨学生たちが新たな環境に身を移す中、今回はかつての世話クラブの例会を訪れた米山学友をご紹介します。

今から約4年前、当時現役奨学生だったジェレミー ノエルベルナーさん(2019-20/さいたま新都心RC)は、コロナ禍であらゆる活動が制限され、活動のほとんどがオンラインとなってしまう、孤独と不安と戦っていました。母国フランスに住む家族が心配で、一時帰国しようにも、一度日本から出

たら再入国できる目途が無いことを空港で知り、帰国を断念。そんな時、当時地区米山委員として奨学生のサポートを行っていた一色泉会員から「辛かったらいつでもうちにおいで」と声を掛けてもらい、その言葉の通りジェレミーさんは一色会員の家で数週間ほど過ごし、安心して学業に専念。



例会を訪れたジェレミーさん(右)と一色会長(中央)

無事に奨学期間を終え帰国しました。そして時は流れ、個々の希望に応じた旅行プランを提供する旅行会社

「TAKE ME ABROAD」を設立したジェレミーさんは、仕事で再来日。世話になったクラブ会員に連絡を取り、現在会長を務める一色会員には内緒で、4月15日の例会にサプライズ訪問。会長を含め、会員たちと久々の再会を喜び合い、当時の感謝を伝えました。再会の瞬間は「泣きそうだった」という一色会長にとって、ジェレミーさんは思い出深く、ずっと忘れられない米山学友だそうで、現在も素敵な交流が続いています。

「世話クラブは【新しい家族】」

4月の新年度から、米山奨学生たちが全国各地で新たなスタートを切り、カウンセラーとの対面、例会といった場で歓迎を受ける中、韓国出身の金姉嬢(キムリヨンア)さん(2024-25/徳山東RC)に、初めて出席した例会の感想や、今後の抱負などを伺いました。

「はじめてカウンセラーさんとお会いした際、韓国と日本の国旗がデザインされたバッジをプレゼントしていただきました。出会う前から、私のことを考えて準備してくださった、ということがとても嬉しかったです。初めての例会はとても緊張しましたが、クラブの皆さんが笑顔で温かく迎えてくださり、これまでまったく接点の無かった方々との出会いにもかかわらず、まるで家族といえるかのような安らぎを感じました。新しくできた家族のおかげで、寂しさを忘れることができそうです。毎週のように例会に参加することは、ロータリーの方々の情熱や結束があってこそなのだと感じ、とても素敵だと思いました。

大学では映像編集やシナリオ制作などに関して勉強中です。小さい頃からイラストレーターになりたい、という夢があり、特にデザインやイラストに力を入れています。夢に向かって努力していきますので、ぜひ応援してください！」

「寄付金速報＝普通・特別寄付とも堅調に推移＝」

4月末までの寄付金は前年同期と比べて2.1%増(普通寄付金:1.0%減、特別寄付金:3.5%増)、約2,610万円の増加となりました。普通寄付金の納入も例年並みに回復し、特別寄付金も前年度を上回ったため、前年単月比では普通・特別寄付金を合算して約500万円増となりました。今年度もあと1カ月半、引き続き当事業へご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。